

教員養成の状況について

- 1 教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること。
- 2 教員の養成に係る組織及び教員の数、各教員が有する学位及び業績並びに各教員が担当する授業科目に関すること。
- 3 教員の養成に係る授業科目、授業科目ごとの授業の方法及び内容並びに年間の授業計画に関すること。
- 4 卒業者の教員免許状の取得の状況に関すること。
- 5 卒業者の教員への就職の状況に関すること。
- 6 教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組に関すること。

- 1 教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること。

福岡県立大学は、文化の向上、保健・福祉の増進及び地域の発展に寄与する、真理探究の精神と豊かな創造性を身につけた人材の育成を目標としています。この目標に向けた取組を推進するにあたり、福岡県立大学は5つの原則、すなわち「人間性の原則」「地域性の原則」「専門性の原則」「多様性の原則」「一体性の原則」から構成される大学憲章を制定し、行動の指針としています。

本学の教職課程では、これらの目標・行動指針を基に、以下に掲げる教員の養成を推進しています。

- ・ 子どもたちの危機に強く、周りから信頼される気概を持った教員
- ・ 使命感を基に、専門的な知識および技能を有する教員
- ・ 子どもの発達を理解し、子どもの健康、遊び、保護者支援に力量を発揮する教員

本学で取得できる教員免許

学科	免許状の種類
公共社会学科	中学校教諭一種免許状 社会、高等学校教諭一種免許状 公民 高等学校教諭一種免許状 情報
社会福祉学科	高等学校教諭一種免許状 福祉
人間形成学科	幼稚園教諭一種免許状、特別支援学校教諭二種免許状(知的障害者、肢体不自由者、病弱者)
看護学科	養護教諭一種免許状

- 2 教員の養成に係る組織及び教員の数、各教員が有する学位及び業績並びに各教員が担当する授業科目に関すること。

○教員の養成に係る組織:教職課程部会

役職	氏名	備考
部会長	池田 孝博	教員兼務理事
部会員	藤澤 健一	中学校教諭一種免許状(社会)高等学校教諭一種免許状(公民・情報)認定課程担当
	畑 香理	高等学校教諭一種免許状(福祉)認定課程担当
	董 秋艶	幼稚園教諭一種免許状認定課程担当

	八田 信人	特別支援学校教諭二種免許状(知的・肢体・病弱)認定課程担当
	原田 直樹	養護教諭一種免許状認定課程担当

教職課程科目担当教員一覧(認定課程専任教員)

学位・業績は教員名をクリックすると確認いただけます。

人間社会学部(36名)

教員名	職 名	担当科目
池田 孝博	教授	幼児と健康、保育内容の指導法・健康、保育・教職実践演習(幼稚園)、体育Ⅰ、体育Ⅱ
石崎 龍二	教授	情報科学、情報数学、プログラミング概論、データ処理とデータ解析Ⅰ・Ⅱ、教育方法と情報技術
岩橋 宗哉	教授	教育相談
岡本 雅享	教授	政治学、国際政治学、社会調査実習Ⅰ、社会調査実習Ⅱ、多文化社会論、東アジア関係史
小嶋 秀幹	教授	知的障害者の心理・生理・病理、病弱者の心理・生理・病理、医学概論
佐野 麻由子	教授	国際社会学 A、NPO 論、国際協力論、社会調査実習Ⅰ、社会調査実習Ⅱ、社会学概論
堤 圭史郎	教授	社会病理学、社会調査実習Ⅰ、社会調査実習Ⅱ
藤澤 健一	教授	教育学概論B、教育史、教師論、教育実習事前事後指導(中高)、中学校教育実習、高校教育実習、学校インターンシップ、教職実践演習(中・高)、教育の方法と実践
本郷 秀和	教授	高齢者福祉論、ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ、ソーシャルワークの理論と方法 B、ソーシャルワーク演習 A、ソーシャルワーク演習 C、ソーシャルワーク演習 D、ソーシャルワーク実習指導Ⅰ、ソーシャルワーク実習指導Ⅱ、ソーシャルワーク実習 A、ソーシャルワーク実習 B
村山 浩一郎	教授	社会福祉学概論Ⅰ、ソーシャルワーク演習 B、ソーシャルワーク演習 D、ソーシャルワーク実習指導Ⅰ、ソーシャルワーク実習指導Ⅱ、ソーシャルワーク実習 A、ソーシャルワーク実習 B
森脇 敦史	教授	個人情報法制、現代社会論C(情報社会と法)、法学
吉岡 和子	教授	教育相談(幼児教育)

八田 信人	特任教授	教育実習事前事後指導(中高)、高校教育実習、知的障害者の指導法、知的障害者教育総論、発達・重複障害者教育総論、特別支援学校教育実習事前事後指導、特別支援学校教育実習、教職実践演習(中高)
池 志保	准教授	発達心理学Ⅰ-A、発達心理学Ⅰ-B
伊勢 慎	准教授	保育内容総論、保育・教職実践演習(幼稚園)、保育カリキュラム論、保育内容演習、保育方法論
井上 奈美子	准教授	キャリア論(進路指導)、情報と職業
小山 憲一郎	准教授	病弱者の心理・生理・病理、発達・重複障害者教育総論、障害者・障害児心理学
奥村 賢一	准教授	子ども家庭福祉論 A、子ども家庭福祉論 B、ソーシャルワーク演習 D、ソーシャルワーク実習指導Ⅰ、ソーシャルワーク実習指導Ⅱ、ソーシャルワーク実習 A、ソーシャルワーク実習 B
河野 高志	准教授	社会福祉学概論Ⅱ、ソーシャルワークの理論と方法 A、ソーシャルワークの理論と方法 D、ソーシャルワーク演習 A、ソーシャルワーク演習 C、ソーシャルワーク演習 D、ソーシャルワーク実習指導Ⅰ、ソーシャルワーク実習指導Ⅱ、ソーシャルワーク実習 A、ソーシャルワーク実習 B
坂無 淳	准教授	社会統計学Ⅰ・Ⅱ、データ分析の基礎、社会調査実習Ⅰ、社会調査実習Ⅱ
櫻井 晋伍	准教授	幼児と表現 A、保育内容の指導法・表現 A、保育内容演習、保育・教職実践演習(幼稚園)、造形Ⅰ、造形Ⅱ
柴田 雅博	准教授	情報処理応用演習、プログラミング演習、データベース論、情報検索システム論、情報ネットワーク論、情報ネットワーク演習、マルチメディア論、Web デザイン演習、情報と職業
田尾 真一	准教授	経済学
寺島 正博	准教授	障害者福祉論、ソーシャルワーク演習 B、ソーシャルワーク演習 C、ソーシャルワーク演習 D、ソーシャルワーク実習指導Ⅰ、ソーシャルワーク実習指導Ⅱ、ソーシャルワーク実習 A、ソーシャルワーク実習 B、障害者教育総論

松岡 佐智	准教授	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ、ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ、ソーシャルワーク演習Ⅰ、ソーシャルワーク演習Ⅱ、ソーシャルワーク実習指導Ⅰ、ソーシャルワーク実習指導Ⅱ、ソーシャルワーク実習Ⅰ、ソーシャルワーク実習Ⅱ
中村 晋介	准教授	現代社会論Ⅰ(ジェンダー・世代)、社会学史Ⅰ
鷲野 彰子	准教授	幼児と表現Ⅱ、保育内容の指導法・表現Ⅱ、保育内容演習、保育・教職実践演習(幼稚園)、音楽Ⅰ、音楽Ⅱ、音楽Ⅲ
黒川すみれ	講師	家族社会学Ⅰ、社会調査実習Ⅰ、社会調査実習Ⅱ
小林 亮太	講師	教育心理学概論
菅原 航平	講師	幼児と人間関係
董 秋艶	准教授	教育学概論Ⅰ、教育制度論、幼稚園教育実習Ⅰ、幼稚園教育実習Ⅱ、保育学、保育・教職実践演習(幼稚園)、幼稚園教育実習事前事後指導、生涯教育論
畑 香理	講師	ソーシャルワーク演習Ⅱ、ソーシャルワーク演習Ⅲ、ソーシャルワーク実習指導Ⅰ、ソーシャルワーク実習指導Ⅱ、ソーシャルワーク実習Ⅰ、ソーシャルワーク実習Ⅱ、保健医療論
薄井 晴	講師	地理学、地理学概論、世界地理、社会調査実習Ⅰ、社会調査実習Ⅱ、地域社会分析法Ⅲ、地理情報システム論
古賀 なな子	助教	特別支援学校教育実習事前事後指導、特別支援学校教育実習
二見 妙子	助教	特別の支援を必要とする子供の理解、特別支援教育、障害者教育総論

看護学部(33名)

教員名	職名	担当科目
石田 智恵美	教授	教師論、看護研究
江上 千代美	教授	生態機能看護学Ⅰ、生態機能看護学Ⅱ
波止 千恵	教授	暮らしと保健福祉・看護、家族看護学
福田 和美	学部長	人間のライフステージと看護、成人老年看護学Ⅰ(急性期)、成人老年看護学Ⅱ(回復期・慢性期)、看護研究

松浦 賢長	教授	暮らしと保健福祉・看護、公衆衛生学、保健統計学、学校保健学、養護概説、健康教育論、教育方法論、教育と社会・地域、養護実習事前事後指導、養護実習、教職実践演習（養護教諭）
村方 多鶴子	教授	精神看護学、精神看護学演習
加藤 法子	准教授	基礎看護学概論、基礎看護技術論、シンプトンマネジメント論、看護過程
塩田 昇	准教授	生態機能看護学Ⅰ、生態機能看護学Ⅱ
四戸 智昭	准教授	看護研究
田中 美樹	准教授	人間のライフステージと看護、小児看護学、小児看護学演習、小児看護学実習
富崎 ゆかり	准教授	成人老年看護学Ⅰ（急性期）、成人老年看護学Ⅱ（回復期・慢性期）
中井 裕子	准教授	人間のライフステージと看護、成人老年看護学Ⅱ（回復期・慢性期）
原田 直樹	准教授	暮らしと保健福祉・看護、公衆衛生学、保健統計学、学校保健学、養護概説、健康教育論、教育方法論、教育と社会・地域、養護実習事前事後指導、養護実習、教職実践演習（養護教諭）
山田 美幸	准教授	看護研究
於久 比呂美	講師	基礎看護学概論、基礎看護技術論、シンプトンマネジメント論、看護過程
梶原 由紀子	講師	暮らしと保健福祉・看護、公衆衛生学、保健統計学、学校保健学、養護概説、健康教育論、教育方法論、教育と社会・地域、養護実習事前事後指導、養護実習、教職実践演習（養護教諭）
小出 昭太郎	講師	保健社会学、看護研究
手島 聖子	講師	家族看護学
野田 優子	講師	小児看護学、小児看護学演習、小児看護学実習
藤野 靖博	講師	基礎看護技術論、シンプトンマネジメント論、看護過程
宮本 いずみ	講師	フィジカルアセスメント論
村田 和子	講師	成人老年看護学Ⅰ（急性期）、成人老年看護学Ⅱ（回復期・慢性期）
安永 薫梨	講師	精神看護学、精神看護学演習
猪狩 崇	助教	家族看護学
植田 愛	助教	精神看護学、精神看護学演習
江崎 千尋	助教	基礎看護技術論、シンプトンマネジメント論フィジカルアセスメント論、看護過程
笹山 万紗代	助教	成人老年看護学Ⅰ（急性期）、成人老年看護学Ⅱ（回復期・慢性期）
清水 夏子	助教	フィジカルアセスメント論
廣瀬 理絵	助教	フィジカルアセスメント論、成人老年看護学Ⅱ（回復期・慢性期）

松山 美幸	助教	生態機能看護学Ⅰ、生態機能看護学Ⅱ、基礎看護技術論、フィジカルアセスメント論
村上 香織	助教	基礎看護技術論、シンプトンマネジメント論、看護過程
山口 馨子	助教	成人老年看護学Ⅰ（急性期）、成人老年看護学Ⅱ（回復期・慢性期）
吉田 麻美	助教	小児看護学、小児看護学演習、小児看護学実習

3 教員の養成に係る授業科目、授業科目ごとの授業の方法及び内容並びに年間の授業計画に関すること。

クリックすると確認いただけます。

・教員の養成に係る授業科目

高等学校教諭一種免許状(公民・情報)

中学校教諭一種免許状(社会)

高等学校教諭一種免許状(福祉)

特別支援学校教諭二種免許状(知的障害者、肢体不自由者、病弱者)

幼稚園教諭一種免許状

養護教諭一種免許状

・授業科目ごとの授業の方法及び内容並びに年間の授業計画に関すること

授業科目概要(シラバス)

4 卒業者の教員免許状の取得の状況に関すること。

教員免許状取得者数

取得免許	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
高校公民	5	7	12	6
高校情報	-	-	4	0
中学社会	5	7	8	5
幼稚園教諭	21	12	13	15
養護教諭	10	13	7	19

5 卒業者の教員への就職の状況に関すること。

教員として就職している者、県別で計上

区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
高校公民情報・中学社会	福岡県4名	福岡県5名	福岡県6名	福岡県4名
幼稚園教諭	福岡県3名	-	福岡県2名	福岡県1名
養護教諭	福岡県7名、 大阪府1名	福岡県9名、熊 本県1名、鹿児 島県1名、宮崎 県1名	福岡県6名	福岡県7名、 長崎県1名、 鹿児島県1名

6 教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組に関すること。

本学 3つの教職課程の合同会議を随時開催し、教員養成に係る情報共有をおこない、各授業・演習・実習を中心とした教育の質の向上に取り組んでいます。また、本学の特徴である全学横断型教育プログラム「援助力養成プログラム」と「キャリアマネジメント・プログラム」と緊密に連動し、地域の子どもたちと関わる多くの機会(ボランティア活動、学校インターンシップ活動等)を通じて、“現場”に適應できる力、すなわち即戦力の素地を養成しています。

(1) 学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組

① 学校インターンシップ(中高教職課程必修科目)

- ・中高教職課程では、授業の観察と学校における教育活動への介助をはじめ、教育活動の実際に触れる機会を学生に提供するため、学校インターンシップを必修としています。学校インターンシップでは、田川市教育委員会との連携のもと、教育実習の実施を目前に控えた学生が同市内小中学校において実施します。

② 教育ボランティア(随時)

- ・「運動会」・「夏祭り」などの子どもに関わるイベント型ボランティアについては、不登校・ひきこもりサポートセンターと社会貢献ボランティア支援センター等が情報提供しています。
- ・継続的な教育支援については、とくに課題のある子どもへの対応については不登校・ひきこもりサポートセンターが情報提供しています。また、地域の子どもたちを対象とした学習支援についても、不登校・ひきこもりサポートセンターと社会貢献ボランティア支援センター等と連携しつつ、情報提供と派遣調整を行っています。

③ 学校参観(随時)

- ・保健室や健康診断の見学については、随時教職課程教員が調整しています。

(2) 教職課程に関する図書、教材の整備

- ・小・中・高等学校の教科書および指導用教科書、小・中・高等学校の学習指導要領関係図書、学校保健に関する図書や手引き、その他の教職に関する図書、教育実習、教育方法などに関する視聴覚教材、教員採用試験受験参考書・問題集、教員採用試験受験対策に必要な資料、教育六法を図書館等に整備しています。

別表 授業科目一覧（福岡県立大学 学部履修規則より抜粋）

○高等学校教諭一種免許状（公民・情報）

別表第 8－1 教科及び教科の指導法に関する科目（高等学校教諭一種免許状〈公民〉）

施行規則に定める科目区分等				本学での開設授業科目と履修方法							
科目 区分		各科目に定めることが 必要な事項及び最低修得単位数		科目名	単位	方法	開設時期（標準履修年次）				履修方法
							1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
教科 及 び 教科 の 指 導 法 に 関 す る 科 目	教科 に 関 す る 専 門 的 事 項	「法学（国際法 を含む。）、政治 学（国際政治を含 む）」	24単位 但し、最低修 得単位数を超 えて履修した 科目は、大学 が独自に設定 する科目に充 てることができる。	法学	2	講義	2				必修
				政治学	2	講義	2				必修
				国際政治学	2	講義	2				
				地方自治論	2	講義		2			
		社会学概論		2	講義	2				必修	
		社会学史Ⅰ		2	講義		2				
		国際社会学A		2	講義		2				
		現代社会論A （ジェンダー・世代）		2	講義		2				
		家族社会学A		2	講義		2				
		社会病理学		2	講義		2				
		社会調査実習Ⅰ		2	実習		2				
		社会調査実習Ⅱ		2	実習		2				
		地域社会学		2	講義	2					
		コミュニティ論		2	講義		2				
		都市社会学		2	講義		2				
		NPO論		2	講義			2			
		多文化社会論		2	講義		2				
		アジア経済論		2	講義			2			
		社会福祉学概論Ⅰ		2	講義	2					
		経済学		2	講義	2				必修	
		「哲学、倫理学、 宗教学、心理学」		哲学要論	2	講義			2		1 科目 選択必修
				倫理学	2	講義			2		
				宗教学	2	講義		2			
				社会心理学	2	講義	2				
	教科及び教科の指導法に 関する科目における 複数の事項を合わせた 内容に係る科目	地域社会分析法A		2	講義			2			
		地域社会分析法C		2	講義			2			
		国際協力論		2	講義	2					
	各教科の指導法（情報 通信技術の活用を含 む。）	公民科教育法Ⅰ		2	講義			2		必修	
		公民科教育法Ⅱ		2	講義			2		必修	

備 考

1. 上表の「公民科教育法Ⅰ」、「公民科教育法Ⅱ」以外の科目は、基盤教育科目及び公共社会学科の専門教育科目です。
2. 「履修方法」欄の「必修」は免許状取得の上での必修科目であることを示します。

別表第 8－2 教科及び教科の指導法に関する科目（高等学校教諭一種免許状〈情報〉）

施行規則に定める科目区分等				本学での開設授業科目と履修方法							
科目区分		各科目に定めることが必要な事項及び最低修得単位数	科目名	単位	方法	開設時期（標準履修年次）				履修方法	
						1年次	2年次	3年次	4年次		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	情報社会（職業に関する内容を含む。）・情報倫理	個人情報法制	2	講義			2		必修	
			現代社会論B（情報社会論）	2	講義		2				
			現代社会論C（情報社会と法）	2	講義		2				
			情報と職業	1	講義			1		必修	
		コンピュータ・情報処理	情報科学	2	講義	2				必修	
			情報処理応用演習	1	演習	1					
			情報数学	2	講義		2				
			社会統計学Ⅰ	2	講義		2			必修	
			社会統計学Ⅱ	2	講義		2				
			社会調査法	2	講義	2					
			社会調査の設計	2	講義		2				
			データ分析の基礎	2	講義	2					
			プログラミング概論	2	講義		2			必修	
			プログラミング演習	1	演習			1			
			データ処理とデータ解析Ⅰ	1	演習			1		必修	
			データ処理とデータ解析Ⅱ	1	演習			1			
			情報システム	データベース論	2	講義		2			必修
				情報検索システム論	2	講義			2		
				地理情報システム論	2	講義			2		
	情報ネットワーク論	2		講義		2			必修		
	情報通信ネットワーク	情報ネットワーク演習	1	演習		1					
		マルチメディア表現・マルチメディア技術	マルチメディア論	2	講義		2			必修	
			Webデザイン演習	1	演習		1				
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目											
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		情報科教育法Ⅰ	2	講義			2		必修		
		情報科教育法Ⅱ	2	講義			2		必修		

備 考

- 1. 上表の「情報と職業」、「情報科教育法Ⅰ」、「情報科教育法Ⅱ」以外の科目は、基盤教育科目、全学横断型科目及び公共社会学科の専門教育科目です。
- 2. 「履修方法」欄の「必修」は免許状取得の上での必修科目であることを示します。

別表第9-1 教育の基礎的理解に関する科目等（高等学校教諭一種免許状〈公民、情報〉）

施行規則に定める科目区分等			本学での開設授業科目と履修方法							
科目	各科目に定めることが必要な事項	単位数	科目名	単位	方法	開設時期（標準履修年次）				履修方法
						1年次	2年次	3年次	4年次	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育学概論B	2	講義	2				必修
			教育史	2	講義		2			
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教師論	2	講義	2				必修
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育社会学	2	講義			2		必修
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		発達心理学Ⅰ-A	2	講義	2				1科目 選択必修
			教育心理学概論	2	講義		2			
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別の支援を必要とする子供の理解	1	講義		1			必修
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	2	講義			2		必修
道徳、総合的な学習の時間等に関する科目	総合的な探究の時間の指導法	8	総合的な学習の時間の指導法	1	講義		1			必修
	特別活動の指導法		特別活動	1	講義		1			必修
	教育の方法及び技術		教育の方法と実践	1	講義			1		必修
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		教育方法と情報技術	1	講義			1		必修
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導論B	2	講義			2		必修
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談	2	講義			2		必修
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		キャリア論（進路指導）	2	講義			2		必修
教育実践に関する科目	教育実習	3	教育実習 事前事後指導（中高）	1	☆実習				1	必修（公民） 必修（情報）
			高校教育実習	2	実習				2	必修（公民） 必修（情報）
	学校体験活動		学校インターンシップ	2	実習		2			必修
	教職実践演習	2	教職実践演習（中高）	2	☆演習				2	必修

備考

- この表の科目は、高等学校一種免許状（公民、情報）の取得のために特に履修する科目です。
- 「教育史」「発達心理学Ⅰ-A」および「教育心理学概論」は人間形成学科の開設科目です。履修に当たっては注意してください。
- 「履修方法」欄の必修等の指定は、免許状取得の上での指定です。
- 「☆演習」「☆実習」は毎週1回（90分）で半期、原則として15回の授業です。

○中学校教諭一種免許状（社会）

別表第 8－3 教科及び教科の指導法に関する科目（中学校教諭一種免許状〈社会〉）

施行規則に定める科目区分等				本学での開設授業科目と履修方法							
科目 区分		各科目に定めることが 必要な事項及び最低修得単位数		科目名	単位	方法	開設時期（標準履修年次）				履修方法
							1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
教科 及 び 教科 の 指 導 法 に 関 する 科目	教科 に 関 する 専門 的事 項	日本史・外国史	28単位 但し、最低修得単位数を超えて履修した科目は、大学が独自に設定する科目に充てることができる。	日本史概論	2	講義		2			必修
				日本近現代史	2	講義	2				
				西洋史概論	2	講義		2			必修
				東アジア関係史	2	講義		2			必修
		地理学（地誌を含む。）		地理学	2	講義	2				
				地理学概論	2	講義		2			必修
				世界地理	2	講義	2				必修
		「法学、政治学」		法学	2	講義	2				必修
				政治学	2	講義	2				必修
				国際政治学	2	講義	2				
				地方自治論	2	講義		2			
		「社会学、経済学」		社会学概論	2	講義	2				必修
				社会学史Ⅰ	2	講義		2			
				国際社会学A	2	講義		2			
				現代社会論A （ジェンダー・世代）	2	講義		2			
				家族社会学A	2	講義		2			
				社会病理学	2	講義		2			
				社会調査実習Ⅰ	2	実習		2			
				社会調査実習Ⅱ	2	実習		2			
				地域社会学	2	講義	2				
				コミュニティ論	2	講義		2			
				都市社会学	2	講義		2			
				NPO論	2	講義			2		
				多文化社会論	2	講義		2			
				アジア経済論	2	講義			2		
	社会福祉学概論Ⅰ			2	講義	2					
	経済学			2	講義	2				必修	
	「哲学、倫理学、宗教学」	哲学要論		2	講義			2		1 科目 選択必修	
		倫理学		2	講義			2			
		宗教学		2	講義		2				
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目			地域社会分析法A	2	講義			2		
				地域社会分析法C	2	講義			2		
				国際協力論	2	講義	2				
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）			公民科教育法Ⅰ	2	講義			2		必修
				公民科教育法Ⅱ	2	講義			2		必修
				社会科教育法Ⅰ	2	講義			2		必修
				社会科教育法Ⅱ	2	講義			2		必修

備 考

1. 上表の「公民科教育法Ⅰ」、「公民科教育法Ⅱ」、「社会科教育法Ⅰ」、「社会科教育法Ⅱ」以外の科目は、基盤教育科目及び公共社会学科の専門教育科目です。
2. 「履修方法」欄の「必修」は免許状取得の上での必修科目であることを示します。

別表第9-2 教育の基礎的理解に関する科目等（中学校教諭一種免許状〈社会〉）

施行規則に定める科目区分等			本学での開設授業科目と履修方法							
科目	各科目に定めることが必要な事項	単位数	科目名	単位	方法	開設時期（標準履修年次）				履修方法
						1年次	2年次	3年次	4年次	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育学概論B	2	講義	2				必修
	教育史		教育史	2	講義		2			
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教師論	2	講義	2				必修
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育社会学	2	講義			2		必修
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		発達心理学Ⅰ-A	2	講義	2				1科目 選択必修
			教育心理学概論	2	講義		2			
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別の支援を必要とする子供の理解	1	講義		1			必修
道徳、総合的な学習の時間等に関する科目及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	10	教育課程論	2	講義			2		必修
	道徳の理論及び指導法		道徳教育B	2	講義			2		必修
	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法	1	講義		1			必修
	特別活動の指導法		特別活動	1	講義		1			必修
	教育の方法及び技術		教育の方法と実践	1	講義			1		必修
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		教育方法と情報技術	1	講義			1		必修
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導論B	2	講義			2		必修
教育実践に関する科目	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	5	教育相談	2	講義			2		必修
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		キャリア論（進路指導）	2	講義			2		必修
	教育実習		教育実習 事前事後指導（中高）	1	☆実習				1	必修（社会）
	学校体験活動		中学校教育実習	4	実習				4	必修（社会）
	学校体験活動	2	学校インターンシップ	2	実習		2			必修
	教職実践演習		教職実践演習（中高）	2	☆演習				2	必修

備考

- この表の科目は、中学校一種免許状（社会）の取得のために特に履修する科目です。
- 「教育史」「発達心理学Ⅰ-A」および「教育心理学概論」は人間形成学科の開設科目です。履修に当たっては注意してください。
- 「履修方法」欄の必修等の指定は、免許状取得の上での指定です。
- 「☆演習」「☆実習」は毎週1回（90分）で半期、原則として15回の授業です。

別表第 10-1 大学が独自に設定する科目（高等学校教諭一種免許状〈公民〉）

免許法施行規則の定める科目と最低必要単位数		本学での開設授業科目と履修方法							
		科目名	単位	方法	開設時期（標準履修年次）				履修方法
					1年次	2年次	3年次	4年次	
大学が独自に設定する科目	高一種免（公民） 12単位 但し、最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目等」について、併せて12単位以上を修得	生涯教育論	2	講義		2			
		道徳教育B	2	講義			2		
		東アジア関係史	2	講義		2			
		地理学	2	講義	2				
		地理学概論	2	講義		2			
		現代社会論B（情報社会論）	2	講義		2			
		現代社会論C（情報社会と法）	2	講義		2			
		社会調査法	2	講義	2				
		社会調査の設計	2	講義		2			
		データ分析の基礎	2	講義	2				
		データ処理とデータ解析Ⅰ	1	演習			1		
		地理情報システム論	2	講義			2		
		個人情報法制	2	講義			2		
		情報科学	2	講義	2				
		障害者教育総論	2	講義	2				
		不登校・ひきこもり援助論	2	講義	2				
		子供学習支援論	1	講義	1				

備 考

1. 上表の科目は、公共社会学科の専門教育科目とそれ以外の科目とが含まれています。
「社会教育特講 B」「社会教育特講 C」「道徳教育 B」「不登校・ひきこもり援助論」「子供学習支援論」の 5 科目は、自由選択科目として単位に算入されます。

別表第 10-2 大学が独自に設定する科目（高等学校教諭一種免許状〈情報〉）

免許法施行規則の定める科目と最低必要単位数		本学での開設授業科目と履修方法							
		科目名	単位	方法	開設時期（標準履修年次）				履修方法
					1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
大学が独自に設定する科目	高一種免（情報） 12単位 但し、最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目等」について、併せて12単位以上を修得	道徳教育 B	2	講義			2		
		統計学	2	講義	2				
		数学概論	2	講義	2				
		社会調査実習Ⅰ	2	実習		2			
		社会調査実習Ⅱ	2	実習		2			
		地域社会分析法 C	2	講義			2		
		家族社会学 A	2	講義		2			
		社会病理学	2	講義		2			
		国際協力論	2	講義	2				
		社会心理学	2	講義	2				
		障害者教育総論	2	講義	2				
		不登校・ひきこもり援助論	2	講義	2				
		子供学習支援論	1	講義	1				

備 考

1. 上表の科目は、公共社会学科の専門教育科目とそれ以外の科目とが含まれています。
「道徳教育 B」「障害者教育総論」「不登校・ひきこもり援助論」「子供学習支援論」の 4 科目は、自由選択科目として単位に算入されます。

別表第 10-3 大学が独自に設定する科目（中学校教諭一種免許状〈社会〉）

免許法施行規則の定める科目と最低必要単位数		本学での開設授業科目と履修方法							
		科目名	単位	方法	開設時期（標準履修年次）				履修方法
					1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
大学が独自に設定する科目	中一種免（社会） 4 単位 但し、最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目等」について、併せて 4 単位以上を修得	生涯教育論	2	講義		2			
		現代社会論 B（情報社会論）	2	講義		2			
		現代社会論 C（情報社会と法）	2	講義		2			
		社会調査法	2	講義	2				
		社会調査の設計	2	講義		2			
		データ分析の基礎	2	講義	2				
		データ処理とデータ解析 I	1	演習			1		
		地理情報システム論	2	講義			2		
		個人情報法制	2	講義			2		
		情報科学	2	講義	2				
		社会心理学	2	講義	2				
		障害者教育総論	2	講義	2				
		不登校・ひきこもり援助論	2	講義	2				
		子供学習支援論	1	講義	1				

備 考

- 上表の科目は、公共社会学科の専門教育科目とそれ以外の科目とが含まれています。
「障害者教育総論」「不登校・ひきこもり援助論」「子供学習支援論」の 3 科目は、自由選択科目として単位に算入されます。

別表第 11 教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目

（高等学校教諭一種免許状〈公民、情報〉及び中学校教諭一種免許状〈社会〉）

免許法施行規則の定める科目と最低修得単位数		本学での開設授業科目と履修方法							
		科目名	単位	方法	開設時期（標準履修年次）				履修方法
					1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
日本国憲法	2	憲法	2	講義	2				必修
体育	2	健康科学実習 I	1	☆実習	1				必修（学科）
		健康科学実習 II	1	☆実習	1				必修（学科）
外国語コミュニケーション	2	スピーキング・リスニング上級（1）	1	演習	1				うち 1 科目を履修（必修）
		スピーキング・リスニング中級（1）		演習	1				
		スピーキング・リスニング初級（1）		演習	1				
		スピーキング・リスニング上級（2）	1	演習	1				うち 1 科目を履修（必修）
		スピーキング・リスニング中級（2）		演習	1				
		スピーキング・リスニング初級（2）		演習	1				
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報処理の基礎と演習	2	☆演習	2				必修（学科）
		情報機器の操作							

備 考

- 「本学での履修方法」欄の「必修」は、免許状取得の上での必修科目であることを示し、「必修（学科）」及び「うち 1 科目を履修（必修）」は公共社会学科の必修指定科目（卒業要件）であることを示します。
- 授業方法欄の「☆実習」「☆演習」は、毎週 1 回（90 分）で半期、原則として 15 回の授業です。

○高等学校教諭一種免許状（福祉）

別表第14 教科及び教科の指導法に関する科目（高等学校教諭一種免許状〈福祉〉）

施行規則に定める科目区分等			本学での開設授業科目と履修方法						
科目区分	各科目に定めることが必要な事項及び最低修得単位数	科目名	単位	方法	開設時期（標準履修年次）				履修方法
					1年次	2年次	3年次	4年次	
教科及び教科の指導法に関する科目	社会福祉学（職業指導を含む。）	社会福祉学概論Ⅰ	2	講義	2				必修
		社会福祉学概論Ⅱ	2	講義	2				必修
	高齢者福祉、児童福祉及び障害者福祉	高齢者福祉論	2	講義		2			必修
		子ども家庭福祉論A	2	講義		2			必修
		子ども家庭福祉論B	2	講義			2		
		障害者福祉論	2	講義		2			必修
	社会福祉援助技術	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	2	講義	2				必修
		ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ	2	講義	2				必修
		ソーシャルワークの理論と方法A	2	講義		2			
		ソーシャルワークの理論と方法B	2	講義		2			
		ソーシャルワークの理論と方法C	2	講義		2			
		ソーシャルワークの理論と方法D	2	講義			2		
		介護福祉論	2	講義		2			必修
	“社会福祉総合実習（社会福祉援助実習及び社会福祉施設等における介護実習を含む。）”	ソーシャルワーク演習A	1	演習	1				
		ソーシャルワーク演習B	2	演習		2			
		ソーシャルワーク演習C	1	演習			1		
		ソーシャルワーク演習D	1	演習			1		
		ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	2	演習		2			必修
		ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	1	演習			1		
		ソーシャルワーク実習A	2	実習		2			必修
		ソーシャルワーク実習B	4	実習			4		
	体構造及び日常生活行動に関する理解	医学概論	2	講義	2				必修
	加齢及び障害に関する理解	障害者・障害児心理学	2	講義		2			必修
		保健医療論	2	講義		2			必修
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を併せた内容にかかる科目								
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	福祉科教育法Ⅰ□	2	講義			2		必修
		福祉科教育法Ⅱ□	2	講義			2		必修

備考

- 上表の「福祉科教育法Ⅰ」、「福祉科教育法Ⅱ」以外の科目は、基盤教育科目及び社会福祉学科の専門教育科目です。
- 「履修方法」欄の「必修」は免許状取得の上での必修科目であることを示します。

別表第 1 5 教育の基礎的理解に関する科目等（高等学校教諭一種免許状〈福祉〉）

施行規則に定める科目区分等			本学での開設授業科目と履修方法							
科目	各科目に定めることが 必要な事項	単位 数	科目名	単位	方法	開設時期（標準履修年次）				履修方法
						1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育学概論 B	2	講義	2				必修
	教育史		2	講義		2				
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教師論	2	講義	2				必修
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育社会学	2	講義			2		必修
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		発達心理学 I - A	2	講義	2				1 科目 選択必修
			教育心理学概論	2	講義		2			
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別の支援を必要とする 子供の理解	1	講義		1			必修
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	2	講義			2		必修
道徳、総合的及び生徒的関連する科目、教育の時間相談等に関する科目	総合的な探求の時間の指導法	8	総合的な学習の時間の指導法	1	講義		1			必修
	特別活動の指導法		特別活動	1	講義		1			必修
	教育の方法及び技術		教育の方法と実践	1	講義			1		必修
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		教育方法と情報技術	1	講義			1		必修
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導論 B	2	講義			2		必修
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談	2	講義			2		必修
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		キャリア論（進路指導）	2	講義			2		必修
	教育実践に関する科目		教育実習	3	教育実習 事前事後指導（中高）	1	☆実習			
高校教育実習		2	実習						2	必修
学校体験活動										
教職実践演習		2	教職実践演習（中高）	2	☆演習				2	必修

備 考

- この表の科目は、高等学校一種免許状（福祉）の取得のために特に履修する科目です。
- 「教育社会学」は公共社会学科、「教育史」および「教育心理学概論」は人間形成学科の開設科目です。
履修に当たっては注意してください。
- 「履修方法」欄の必修等の指定は、免許状取得の上での指定です。
- 「☆演習」「☆実習」は毎週 1 回（90 分）で半期、原則として 15 回の授業です。

別表第 1 6 教育職員免許法施行規則第 6 6 条の 6 に定める科目

(高等学校教諭一種免許状〈福祉〉)

免許法施行規則の定める科目と最低修得単位数		本学での開設授業科目と履修方法							
		科目名	単位	方法	開設時期(標準履修年次)				履修方法
					1年次	2年次	3年次	4年次	
日本国憲法	2	憲法	2	講義	2				必修
体育	2	健康科学実習Ⅰ	1	☆実習	1				必修(学科)
		健康科学実習Ⅱ	1	☆実習	1				必修(学科)
外国語コミュニケーション	2	スピーキング・リスニング上級(1)	1	演習	1				うち1科目を履修(必修)
		スピーキング・リスニング中級(1)		演習	1				
		スピーキング・リスニング初級(1)		演習	1				
		スピーキング・リスニング上級(2)	1	演習	1				うち1科目を履修(必修)
		スピーキング・リスニング中級(2)		演習	1				
		スピーキング・リスニング初級(2)		演習	1				
教理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	教理、データ活用及び人工知能に関する科目	2	2	☆演習	2				必修(学科)
	情報機器の操作								

備 考

- 「本学での履修方法」欄の「必修」は、免許状取得の上での必修科目であることを示し、「必修(学科)」及び「うち1科目を履修(必修)」は社会福祉学科の必修指定科目(卒業要件)であることを示します。
- 授業方法欄の「☆実習」「☆演習」は、毎週1回(90分)で半期、原則として15回の授業です。

○幼稚園教諭一種免許状

別表第 19 領域及び保育内容の指導法に関する科目（幼稚園教諭一種免許状）

施行規則の定める科目区分等				本学での開設授業科目と履修方法							
科目区分		各科目に含めることが 必要な事項と 最低修得単位数	科目名	単位	方法	開設時期(標準履修年次)				履修 方法	
						1年次	2年次	3年次	4年次		
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	健 康	16単位	幼児と健康	1	演習			1		必修
		人間関係		幼児と人間関係	1	演習			1		必修
		環 境		幼児と環境	1	演習		1			必修
		言 葉		幼児と言葉	1	演習		1			必修
		表 現		幼児と表現A	1	演習		1			必修
	幼児と表現B			1	演習			1		必修	
	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	保育内容総論		2	☆演習		2			必修	
		保育内容の指導法・健康		1	演習			1		必修	
		保育内容の指導法・人間関係		1	演習			1		必修	
		保育内容の指導法・環境		1	演習		1			必修	
		保育内容の指導法・言葉		1	演習		1			必修	
		保育内容の指導法・表現A		1	演習		1			必修	
		保育内容の指導法・表現B		1	演習			1		必修	
		保育内容演習		2	☆演習				2	必修	

備考

1. 上記の科目は、すべて人間形成学科の専門教育科目です。

別表第20 教育の基礎的理解に関する科目等（幼稚園教諭一種免許状）

施行規則に定める科目区分等			本学での開設授業科目と履修方法							
科目	各科目に含めることが 必要な事項と 最低修得単位数		科目名	単位	方法	開設時期(標準履修年次)				履修方法
						1年次	2年次	3年次	4年次	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育学概論 A	2	講義	2				必修（学科）
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		保育者論	2	講義	2				必修
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育制度論（関係行政論）	2	講義			2		必修
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		発達心理学 I-B	2	講義	2				必修（学科）
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育・保育	2	☆演習		2			必修
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		保育カリキュラム論	2	講義		2			必修
道徳、総合的な学習の時間等に関する科目	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	4	保育方法論	2	講義			2		必修
	幼児理解の理論及び方法		幼児理解の理論と方法	2	☆演習			2		必修
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談（幼児教育）	2	講義				2	必修
教育実践に関する科目	教育実習	5	幼稚園教育実習 事前事後指導	1	実習		1			必修
			幼稚園教育実習Ⅰ	2	実習			2		必修
			幼稚園教育実習Ⅱ	2	実習			2		必修
	学校体験活動									
	教職実践演習	2	保育・教職実践演習 （幼稚園）	2	☆演習				2	必修

備 考

1. 上表の科目はすべて人間形成学科の専門教育科目であり、「履修方法」欄の「必修」は免許状取得の上での必修科目です。「必修（学科）」は、保育士資格・幼稚園教諭免許の取得を希望する学生にとって卒業要件を満たす上でも必修となる科目です。
2. 上表の科目の他に、人間形成学科の専門教育科目から「保育学」を履修する必要があります。
3. 「☆演習」は、毎週1回（90分）で半期、原則として15回の授業です。

別表第 2 1 大学が独自に設定する科目（幼稚園教諭一種免許状）

施行規則の定める科目区分等		本学での開設授業科目と履修方法						
科目区分	科目名	単位	方法	開設時期(標準履修年次)				履修方法等
				1年次	2年次	3年次	4年次	
大学が独自に設定する科目	造形Ⅰ	1	演習	1				必修
	音楽Ⅰ	2	演習	2				必修
	体育Ⅰ	1	演習		1			必修
	生涯教育論	2	講義		2			必修
	保育学	2	講義		2			必修
	造形Ⅱ	1	演習	1				4単位 選択必修
	音楽Ⅱ	1	演習		1			
	音楽Ⅲ	1	演習		1			
	体育Ⅱ	1	演習			1		
	知的障害者教育総論	1	講義			1		
	発達・重複障害者教育総論	1	講義			1		

備 考

1. 上表の科目は、すべて人間形成学科の専門教育科目です。

別表第 2 2 幼稚園教諭一種免許状（教育職員免許法施行規則第 6 6 条の 6 に定める科目）

免許法施行規則の定める科目と最低修得単位数		本学での開設授業科目と履修方法							
		科目名	単位	方法	開設時期(標準履修年次)				履修方法
					1年次	2年次	3年次	4年次	
日本国憲法	2	憲法	2	講義	2				必修
体育	2	健康科学実習Ⅰ	1	☆実習	1				必修
		健康科学実習Ⅱ	1	☆実習	1				必修
外国語コミュニケーション	2	スピーキング・リスニング上級(1)	1	演習	1				うち1科目を履修(必修)
		スピーキング・リスニング中級(1)		演習	1				
		スピーキング・リスニング初級(1)		演習	1				
	1	スピーキング・リスニング上級(2)	1	演習	1				うち1科目を履修(必修)
		スピーキング・リスニング中級(2)		演習	1				
		スピーキング・リスニング初級(2)		演習	1				
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報処理の基礎と演習	2	☆演習	2				必修
		情報機器の操作							

備 考

1. 上表の科目は、すべて人間社会学部の基盤教育科目（教養科目、基礎科目）です。
2. 「☆実習」「☆演習」は、毎週1回（90分）で半期、原則として15回の授業です。

○特別支援学校教諭二種免許状

別表第2-3 特別支援教育領域に関する科目等（特別支援学校教諭二種免許状（知的障害者・肢体不自由者・病弱者））

免許法施行規則の定める科目と最低修得単位数		本学での開設授業科目と履修方法								
		科目名	単位	方法	開設時期(標準履修年次)				履修方法	
					1年次	2年次	3年次	4年次		
特別支援教育の基礎理論に関する科目		2	障害者教育総論	2	講義	2				必修
特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	8	知的障害者の心理・生理・病理	1	講義	1				必修
			肢体不自由者の心理・生理・病理	1	講義	1			必修	
			病弱者の心理・生理・病理	1	講義		1		必修	
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目		知的障害者の指導法	2	講義		2		必修	
			肢体不自由者の指導法	1	講義		1		必修	
			病弱者の指導法	1	講義		1		必修	
	・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目		知的障害者教育総論	1	講義			1		必修
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	3	発達・重複障害者教育総論	1	講義			1	必修	
		3	視覚障害者教育総論	1	講義			1	必修	
			聴覚障害者教育総論	1	講義			1	必修	
			特別支援学校教育実習事前事後指導	1	実習				1	必修
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習		3	特別支援学校教育実習	2	実習				2	必修

備考

- この表の科目は、特別支援学校教諭二種免許状(知的障害者・肢体不自由者・病弱者)の取得のために特に履修する科目です。
- 「履修方法」欄の「必修」は免許状取得の上での必修科目であることを示します。

○養護教諭一種免許状

別表第 2 7 教育の基礎的理解に関する科目等（養護教諭一種免許状）

施行規則に定める科目区分等			本学での開設授業科目と履修方法							
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	科目名	単位	方法	開設時期(標準履修年次)				履修方法
						1年次	2年次	3年次	4年次	
教育の基礎的理解に関する科目	・教育理念並びに教育に関する歴史及び思想	8	教育学概論 B	2	講義	2				必修
	・教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教師論	1	講義			1		必修
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育と社会・地域	1	講義	1				必修
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		発達心理学Ⅰ－A	2	講義	2				必修
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別の支援を必要とする子供の理解	1	講義		1			必修
	・教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程編成論	2	講義		2			必修
道徳及び、生徒指導、総合的な学習の時間等に関する科目	・道徳、総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容	6	道徳教育 A	1	講義		1			必修
			特別活動・総合的な学習の時間	1	講義		1			必修
	・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		教育方法論	1	講義		1			必修
	・生徒指導の理論及び方法		生徒指導論 A	2	講義				2	必修
	・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談	2	講義			2		必修
教育実践に関する科目	養護実習	5	養護実習 事前事後指導	1	実習				1	必修
			養護実習	4	実習				4	必修
	学校体験活動									
	教職実践演習	2	教職実践演習 (養護教諭)	2	演習				2	必修
合計		21		23		5	6	3	9	23

別表第28 教育職員免許法施行規則66条の6に定める科目
(養護教諭一種免許状、養護教諭二種免許状)

免許法施行規則の定める科目と最低 修得単位数		本学での開設授業科目							
		科目名	単位	方法	開設時期(標準履修年次)				履修方法
					1年次	2年次	3年次	4年次	
日本国憲法	2	憲法	2	講義	2				必修
体育	2	健康科学	2	講義		2			必修
外国語コミュニ ケーション	2	リーディング・ライティング 初級 (1)	1	演習	1				うち1科目を 履修 (必修)
		リーディング・ライティング 中級 (1)		演習					
		リーディング・ライティング 上級 (1)		演習					
		リーディング・ライティング 初級 (2)	1	演習	1				うち1科目を 履修 (必修)
		リーディング・ライティング 中級 (2)		演習					
		リーディング・ライティング 上級 (2)		演習					
		スピーキング・リスニング 初級 (1)	1	演習	1				うち1科目を 履修 (必修)
		スピーキング・リスニング 中級 (1)		演習					
		スピーキング・リスニング 上級 (1)		演習					
		スピーキング・リスニング 初級 (2)	1	演習	1				うち1科目を 履修 (必修)
		スピーキング・リスニング 中級 (2)		演習					
		スピーキング・リスニング 上級 (2)		演習					
数理、デー タ活用及び人 工知能に関す る科目又は情 報機器の操作	2	情報処理演習Ⅰ	1	演習	1				必修
		情報処理演習Ⅱ	1	演習	1				必修
合計		8		10		8	2		